

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

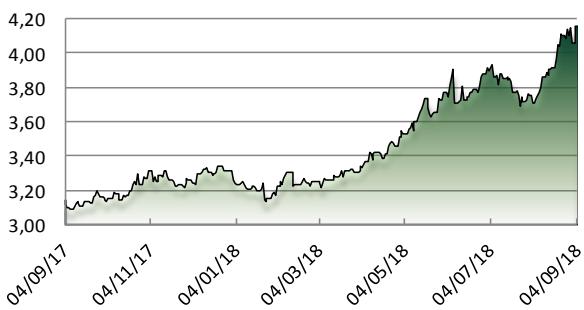
昨日のドルレアルスポット相場は、トルコリラとアルゼンチンペソに続いて、南アフリカランドも急落した煽りを受けて取引開始直後に4.18台後半までレアル安が進行。再び4.20台乗せを伺う展開となっているが、先週30日以降、ブラジル中銀が新規スワップ入札に踏み切る兆しはない。2015年から2016年まで中銀で国際担当理事を務めたTony Volpon氏(現UBS Brasilチーフエコノミスト)は3日、相場のボラティリティをより効率よく抑制するため、「中銀はTombolini元総裁(2011年-2016年)が2013年から2016年に実施した定期的(予見可能)な新規スワップ入札に踏み切るべき」と提言。中銀が市場参加者のドル高ヘッジに応じる姿勢を事前に明確化すれば、「相場変動時に中銀が最初の防波堤になる必要性が薄れる」との見解を示した他、①レアル相場は先週4.20台に達したが、マーケットのストレスはまだ最高点に達しておらず、大統領選前にクライマックスを迎える可能性が高い、②レアル安が過度に進行した場合、中銀が大統領選後に利上げに踏み切る選択肢は有り得る(なお、Goldfajn総裁が率いる現中銀は、為替相場の安定化を目的に金融政策を利用することを従来から否定している)、③例え現政権の改革に逆行する候補者が勝利しても、マーケットフレンドリーな政策に舵を切れば、相場のボラティリティは抑制される、と述べている。今後のレアル相場見通しはまさに、「大統領選次第」であり、ブラジル国内でも見通しの2極化が鮮明となっている。

マーケットデータ

Indicator		Unit	9月3日	9月4日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対ドル	BRL	4,1582	4,1605	0,06%	12,22%	3,1210	4,2146
	対円	JPY	26,71	26,79	0,30%	-10,74%	35,13	26,39
	対ユーロ	BRL	4,8320	4,8187	-0,28%	12,37%	3,8531	4,9087
円	対ドル	JPY	111,07	111,41	0,31%	0,14%	104,56	113,39
	対ユーロ	JPY	129,04	129,03	-0,01%	0,26%	124,62	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index		76,193	74,712	-1,94%	-8,26%	88,318	69,069
CDS Brazil 5yrs	bps		305,50	309,74	1,39%	45,48%	311,85	142,50
Brazil 10yrs Gov. Bond	%		12,35	12,53	1,46%	12,29%	12,53	9,43
DI Future Jan19 (金利先物)	%		6,93	6,93	0,07%	4,84%	7,88	6,21
3 Months US Dollar Libor	%		2,3156	2,3156	0,00%	-1,17%	2,3691	1,6959
CRB Index (国際商品指数)	Index		192,96	192,12	-0,44%	-0,58%	206,95	186,74

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート



<オムツマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。